



介護・地域医療 組織超え連携

介護や地域医療の現場で、複数の者が組織の枠を超えて連携する動きがっている。異なる社会福祉法人の力を集めた統一研修や、地域の事業者によるチームケアに役立てるための表づくりなどが進められている。

(中村剛)

京都市中心部の研修施設に
5月31日、同市や京都府京丹
後市、滋賀県東近江市にある
社会福祉法人の職員20人以上
が集まつた。
祉法人「リガーレ喜らしの架
け橋」が開く「統一研修」の
受講者たちだ。
この日の研修は数人のスタッ
ツフを束ねる現場リーダーが
対象。チームケアのあるべき
姿やリーダーとして求められ
る行動などを講話に耳を傾け
たり、受講者同士で議論をし
たりしていた。
リガーレは、特別養護老人
ホームなどを運営する中小規
模の社会福祉法人同士が連携

して介護事業を進めるために設立された。規模が小さいと人材確保や育成の負担が重く、施設が少ないとボストも限られ、職員を経験や能力に応じた職位に就けるのも難しく、い。

計画表で互いに連携が課題だ。そこで効率的な連携などを実現するため全体像が見えてくる。

いに進行把握
様々な事業者がかかわ
えづらく、事業者間の
ことで、他の事業者との
を目指して工夫するゲ
見やすく
組みを把握するな
る工夫という。
計画表は、医師や
ルバー、理学療法士
トに分かれる。それ
回訪問」「訪問開始

が互いに他の人の取扱い、
ケアマネジャー、へ
ら各職種ごとのシ
ア「退院前」「初
からうつ4週目」「6

在宅ケアは全体像見やすく

計画表は、医師やケアマネジャー、ヘルパー、理学療法士ら各職種ごとのシートに分かれる。それぞれ「退院前」「初回訪問」「訪問開始から3~4週間」「6~8週間」「8~12週目」と時期ごとに、「自主トレーニングの重要性を説明」「住居改修」「家具化など」などの内容が記述される。利用者や家族向けのシートもある。

参加機関は世田谷区内の15事業者に増えた。また、脳卒中の患者用のものを作成中で、ペーキンソン病など別の病気の患者用も手がける考え方という。長谷川院長は「一緒に作ったバスを使うことで、歩行が改善される」と笑顔で語る。

療計画表の作成と利用だ。
診療計画表は利用者のリハビリや生
能力の回復に向けた工程表兼チェック
リストのこと。目標達成のための標準的
プロセスをわかりやすく示し、利用者
家族が安心感を持てるようにするほか

やなしあ活ケ宅在
え。また、脳卒中の患者用のものを作成で、パークinson病など別の病気の患者用も手がける考え方。長谷川院長は「一緒に作ったパスを使うことで、ケアに関するお互いの理解度が格段に上がった」と話していく。

「自分の力で問題を解決でき
る人材を育てることなどが研
修の目的だ。違う法人の職員
が定期的に集まって、将来の
人事交流の基礎にする狙いも
ある」と説明した。

森3府県の7法人。研修は卒業採用2年目、役職者回りなど、勤続年数や職位によって設定され、介護福祉士資格取得に向けた研修もある。へきどんの六心会(滋賀県東近江市)の辻辰郎部長は「独自

合同で研修 ■ 人事交流も視野

すことで気付かなかつた視聴者に立た。同じ立場の人に相談できる構のつながりは大事」と話していた。

リガーレの山田尋志理事長は「介護の質を高めて地域への貢献を進めることは人材育成が不可欠だ。将来的にグループ一括の職員採用や、法人の枠を超えた人事交流を実現させたい」と語った。

日本年金機構は公的
年金の下限を、社会保険



統一研修を受ける受講者たち（5月、京都市で）

日本年金機構は公的年金の大切さや、社会保障としての公的年金の重要性をPRするため、年金と年金生活の魅力をアピールするPR活動を行っている。優秀作品は表彰され、ホームページや同機構の冊子などに紹介する。

1999年～2000年以降、中学生以上が応募できる「年金と年金生活」コンクールが開催される。氏名や年齢、住所、電話番号、職業、学校名などを記して、同機構「わたらせ工房」へ郵送する。9月4日消印有効。問い合わせは同機構(03-5354-1100)。